

## 軽井沢 錦秋の旅 紅葉の走りを楽しむ

企画委員会

軽井沢の錦秋、ゆったりと1泊2日の旅をしてきました。本年は猛暑が長く続いていましたが、季節は確実に巡り涼しくなり、軽井沢にも秋の紅葉がチラホラと訪れていました。軽井沢の清涼感、この地は爽やかで、戸外でのんびりとした散策、気持ちの落ち着く二日間を過ごしました。軽井沢は避暑地、明治開化以来の先進地で自然を楽しむばかりではなく、この地に蓄積されている文化や歴史も堪能することができました。

宿泊は「メレーズ軽井沢」、中軽井沢駅から至近の千代田区の施設で、会員の方の伝で今回も便宜を図っていただき利用ができました。感謝の限りです。

**日時**：2024年10月10日（木）～11日（金）  
**費用**：8,700円（1泊2日 朝食、夕食）  
**自己負担**：交通費（現地バス代1,200円）、  
入場料（400円）、飲物代、昼食代など  
**参加**：11名  
**集合**：軽井沢駅新幹線改札 12時  
**宿泊**：メレーズ軽井沢（千代田区施設）  
コテージ2棟使用

**日程**：第1日午後 軽井沢自然散策  
～雲場池周遊と紅葉狩り、ハルニレテラス森散策～  
第2日 軽井沢の文化と歴史の探索  
～旧近衛文麿別荘（現市村記念館）、  
雨宮敬次郎記念館（軽井沢開拓者旧宅）、  
軽井沢商店街、観光会館（ミニ鉄道博物館）～  
**解散**：現地 第二日午後 各自帰京



中軽井沢メレーズ 宿泊場所 千代田区施設

コテージ数棟がカラマツなどの木々の間に点在し、ゆったりとしたリビングがあり、調度が整っていて、まさに高原の別荘に来た気分です。本館には、大浴場があり、温泉風気分を味わいゆったりと湯に浸り手足を伸ばしました。



今回の企画は1泊2日でした。が、秋をもっと堪能したい方々6名は延長宿泊をされ、軽井沢ならではのハイセンスなショッピングも堪能をされたようです。

### ◆第1日午後 軽井沢の自然散策

軽井沢駅から公共バスに乗り、巡りました。雲場池の入口近くには、正宗白鳥の文学碑がありました。

文学者が集った軽井沢の別の場所には、室生犀星、北原白秋の文学碑がありました。



### 雲場池周遊と紅葉狩り

秋の紅葉の走りを楽しみました。青空が湖面に映り、彩色の秋の色が重なり、水面の揺れが魅力を倍増し、秋色での風情でした。水鳥が、思い思いに水面を滑り、水中に潜り、羽繕いをするなどの様子は穏やかな気持ちにしてくれました。



湧水「御膳水」を源にする雲場川を堰き止めたのが、この雲場池です。名水ですので、この近くの店のコーヒーが、大変に美味でした。

### ハルニレテラス



森林の中のお洒落な場所でした。縦長に商業施設を賑やかに配し、ショッピング、ランチ、コーヒーが楽しめました。小川の畔の親水スポットは、訪れる人たちに趣のある憩いの場所となっていました。日、川のせせらぎ、これぞ軽井沢と感じました。

お買い物に精が出てお荷物が一杯になった方もいらっしゃいました。

## 北原白秋文学碑



ハルニレテラスの散策道に、「からまつの林を過ぎて・・・」4行8連の絶唱「落葉松」の北原白秋詩碑がありました。

## ◆第2日午前 軽井沢の文化と歴史の探索

宿泊所から車で10分、中軽井沢と軽井沢の間、国道18号線に沿って文化と歴史の地がありました。

### 旧近衛文麿別荘（現在市村記念館） 瀟洒な洋風外観

木造2階建ての外観は洋風でした。が、見学で建物に入ったところ和風造りでした。畳の部屋、腰かけ出窓、長火鉢、鉄瓶、桐ダンス、お勝手のケヤキ木目の戸棚などなど、見飽きない造作でした。



近代的なものも多く見かけました。電話室に備えられた磁石式電話機、洋風水洗式トイレと浴室、電気仕掛けがない大きなラップ付きのビクターの蓄音機です。

係の方から説明があり、より見識を高めることができました。例えば、この建物は本来の場所からの移築で、その際にレンガが劣化したマンツルピースの再建が難しく、その場所に長火鉢を置かれたなどです。なお、ビクターの蓄音機を修復した際の再生音を、聞かせていただきました。なんと、昔チックな音でした。

内部は撮影禁止で、写真なら「一目瞭然」なのに残念です。

### 雨宮敬次郎旧邸

百二十坪の堂々とした、純和風の邸宅でした。この方は、明治一代での分限者で、軽井沢の開拓者の一人です。大日本軌道なる蒸気軌道を運営し、雨宮鉄工場で鉄道車両を製造していました。鉄道王ともいわれる所以です。



雨宮敬次郎氏は江戸末期に甲州に生まれ、生糸貿易で財をなし明治時代末までを生き抜き、まさに多彩で波乱万丈な人生を送ったそうです。

この建物と旧近衛邸別荘と合わせて軽井沢に寄贈されたのが、雨宮氏の甥御さんの市村氏です。

## ◆第2日午後 軽井沢の銀座と観光会館

軽井沢駅発の市内バスで、往復しました。インバウンドの観光客、犬を連れてたぶらぶら歩きの観光客が目につきました。バスは、Suicaが使い便利でした。

## 軽井沢銀座通り 商店街

ショッピングと散策のお楽しみ場所、相変わらずの人気と老舗の店の通りでした。



## つるや旅館 昔の脇本陣

軽井沢は中山道の宿場町でしたので、この銀座通りの最奥には旅館に衣替えした「つるや」が堂々とありました。島崎藤村、芥川龍之介、志賀直哉などが宿泊したそうです。



## テニスコート

上皇ご夫妻の出会いの場で有名なテニスコートも見学しました。周囲は心なしか、ひっそりしていました。

## 軽井沢観光会館

旧軽井沢商店街の中ほどにあり、1階は案内所です。

建物は旧軽井沢郵便局を模したレトロ風で、旧軽井沢商店街のシンボルです。2階が鉄道ミニ博物館でした。碓井峠越えのアプト式機関車、碓井トンネル工事の写真、使用していたラックレールの部分の実物、草軽鉄道の機関車の写真など、在りし日の雄姿と歴史に見入りました。



軽井沢の大ジオラマがありました。2千5百mに聳える浅間山や、標高千mの軽井沢の地形が俯瞰できました。鬼押し出しの様子も分かりました。写真撮影禁止でしたので、文字だけで説明するもどかしさを感じます。ここも「一目瞭然」でしたのに・・・。

## ◆メレーズ軽井沢のお食事

この施設のお料理は、前回も感じましたが、なかなか手の込んだものでした。心がこもっていました。



夕食と朝食、そして満足顔の食事風景を写真で紹介いたします。



軽井沢高原ビール、地元の白ワイン、これも地元の千曲錦酒造謹製で日本酒も賞味しました。軽井沢ビールブランド「高原の錦秋」で仕上げた、秋香る楽しい錦秋旅行でした。

